

アルク

取扱説明書

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。製品を安全、快適にご使用いただくための大切な内容が記載されております。ご使用前に必ずお読み下さい。
なお、保証書も掲載致しておりますので、大切に保管して下さい。



仕様・サイズ

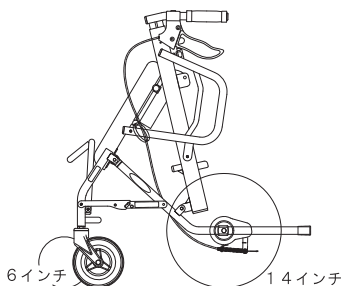
重量

11.8kg

全幅

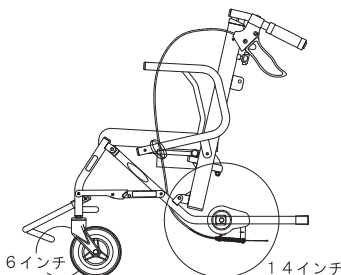
63cm

歩行車ポジション



【全長】71cm※1
【全高】82cm※1
【グリップ高】
81~93cm
(6段階調整可)

着座ポジション



【座面幅】38cm
【有効座幅】42cm※2
【有効座奥行】38cm
【前座高】43cm※3
【後座高】41cm※3
【バックベルト上端まで】31cm※3
【肘パイプ上端まで】20cm※3
【ステップパイプまで】35cm※3
【全長】87cm※1
【全高】78cm※1
【グリップ高】68~79cm (6段階調整可)



折りたたみ寸法

【全長】67cm※1
【全高】79cm※1
【全幅】63cm

※1 グリップ(ハンドル)高を最も低くした場合の寸法
※2 バックパイプ内寸法
※3 座上面からの寸法

メンテナンス・保管方法

- フレームを強い力でこすったりしないで下さい。塗装面がはがれる恐れがあります。汚れがある場合は、かたくしぼったタオルなどでやさしく水ぶきしたあと、よく乾燥させてください。
- ワイヤ調整や修理はお買い上げの販売店もしくはレンタル先のレンタル業者にご相談ください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での長期保管は避けて下さい。

各部の名称

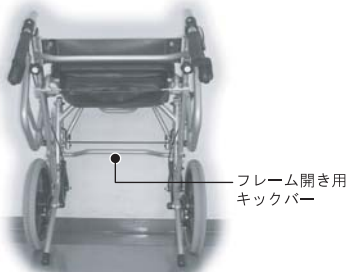
歩行車ポジション



着座ポジション



折りたたみ状態



使用前点検(必ず行なってください)

- ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
 - 駐車ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
 - ハンドルがノブボルトによってしっかり固定されているかご確認ください。
 - ネジのゆるみがないか、フレームのガタつきがひどくないかご確認ください。
 - シート・ベルトに亀裂や破れがないかご確認ください。
 - 後輪タイヤの空気圧は適切かどうかご確認ください。(不足している場合は補充してください)
 - 車輪のガタ、緩み、曲がり等がないかご確認ください。
 - 前輪キャスタ輪及びキャスタフォークに変形、ひび割れ等がないかご確認ください。
 - 前輪キャスタが緩んでいないか、抜け落ちていないかご確認ください。
 - 折りたたみ防止バー等のパーツやバネ、樹脂部品類の変形・破損がないかご確認ください。
- ポジションロックワイヤーの先端のスライドピンでフレームがしっかり固定されているかご確認ください。(左右両方とも確認してください)



歩行車ポジション



着座ポジション

- キャスタを浮かせた状態で製品を軽くゆすっても、フレーム固定バーが折りたたまれを確認してください。(ゆすく際に転倒しないよう、充分ご注意ください)

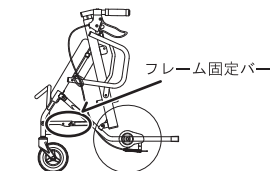


歩行車ポジション



着座ポジション

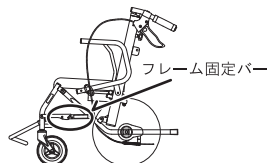
- 左右のフレーム固定バーが、折りたたみ防止バーにより、確実にロックされていることを確認してください。



フレーム固定バーがロックされている状態。



フレーム固定バーがロックされていない状態。(この状態では使用しないでください)



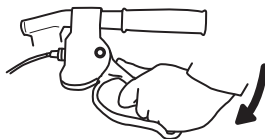
警告

製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。

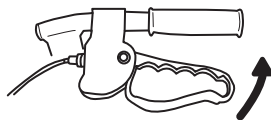
ブレーキのかけかた



ブレーキレバーを上握ると
ブレーキがかかります。



ブレーキレバーがロックされる
まで下に下げると駐車ブレーキ
がかかります。

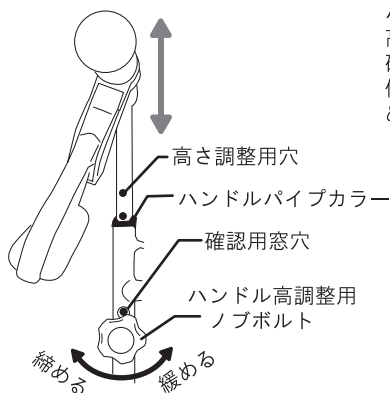


ブレーキレバーを上げて
レバーのロックを解除す
ると、駐車ブレーキが解
除されます。



禁止 坂道での駐車はしないで下さい。

ハンドル高の調整のしかた



ハンドル高調整用ノブボルトを緩めると、ハンドルの
高さを変えることができます。(6段階調整可能)
確認用窓穴から、高さ調整用穴がしっかり見えている
位置で、ハンドル高調整用ノブボルトをしっかりと締
めて固定してください

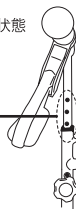


注意



調整後、確認用窓穴から、高さ調整用穴が完全
に見えていることを確認してください。

カラーより上に穴が3つ出た状態



ハンドルパイプカラーより上に高さ調整用穴が3つ出ている状態がハンドルの
最高位です。この状態よりも高い位置にハンドルを調整することはできません。

※ハンドルを無理に高く上げようとすると、ブレーキワイヤーに無理な力が
かかり、傷みます。右図の状態よりも高い位置にはハンドルを上げないで
ください。

ポジションの変更のしかた(歩行車ポジションから着座ポジションへ)



注意

ポジション変更動作は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行って下さい。



①ステップパイプを前に倒してひらきます。



②ポジションロックワイヤーを引き下げて、フレームのロックを解除させます。



③座面を下に押し下げながらフレームをひらきます。



④座面が完全に下がり、フレームがロックされれば完了です。



注意

- ・ポジション変更動作中は、フレームの隙間に手や指を入れないでください。
- ・フレームや各部で体を挟んだり、体にフレームや部品をぶつけてケガをしないようご注意ください。
- ・ポジションロックワイヤーは静かに引いてください。無理に強い力で引っ張らないでください。



ポジション変更後には、ポジションロックワイヤー先端のスライドピンでフレームがしっかり固定されているかご確認ください。(左右両方とも確認してください)

ポジションの変更のしかた(着座ポジションから歩行車ポジションへ)



注意

ポジション変更動作は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行って下さい。



①ポジションロックワイヤーを引き上げて、フレームのロックを解除させ、握り手を座面に移します。



②座面が完全に上がってロックがかかるまで、座面を持ち上げます。(※)



③座面のロックがかかったら、ステップパイプを上上げてたたくみます。



注意

ポジションロックワイヤーを持ったままロックさせようとする、ロックが不完全になる場合があります。必ず座面部を持って持ち上げてください。



注意

- ・ポジション変更動作中は、フレームの隙間に手や指を入れないでください。
- ・フレームや各部で体を挟んだり、体にフレームや部品をぶつけてケガをしないようご注意ください。
- ・ポジションロックワイヤーは静かに引いてください。無理に強い力で引っ張らないでください。



ポジション変更後には、ポジションロックワイヤー先端のスライドピンでフレームがしっかり固定されているかご確認ください。(左右両方とも確認してください)

座り・立ち上がり時の注意（着座ポジション時）



注意

- ・着座ポジション時のみ座ることが可能です。歩行車ポジション及び折りたたみ時に座ることはできません。
- ・座る動作及び立ち上がりの動作は必ず駐車ブレーキをかけた状態で行って下さい。
- ・勢いよく腰かけずに、静かに座ってください。

良い座位姿勢

座面とバックベルトにバランスよく体重がかかり、座位が安定するように、腰かけてください。



悪い例

後方におしりが突き出してしまうような座り方はしないでください。



折りたたみ方



注意

折りたたみ動作は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行って下さい。



①折りたたみは歩行車ポジションから行ないます。



②折りたたみ防止バーを足で上に上げながら前輪キャスタを浮かせると、フレーム固定バーが折れ、フレームがたたまります。



③グリップをゆっくり後方に引くと、自立します。



注意

- ・折りたたみ動作中は、フレームの隙間に手や指を入れないでください。
- ・フレームや各部で体を挟んだり、体にフレームや部品をぶつけてケガをしないようご注意ください。
- ・折りたたみ防止バーは静かに上げてください。強い力で蹴り上げないでください。
- ・折りたたみ動作は転倒しないように充分注意しながら行ってください。



警告

折りたたみ防止バー・バネ・樹脂部品等の変形や破損がある場合は、使用を中止し、販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。破損や変形のある状態での使用は重大な事故につながるおそれがあります。

開き方（折りたたみ状態から歩行車ポジションへ）



注意 開く動作は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行って下さい。



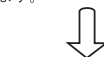
①グリップを前に押して、フレームを少し起こします。



②フレーム開き用キックバーを足でゆっくり押しながら、グリップを前に押しします。



③フレームが開いて、前輪キャストが地面に接地します。



④左右のフレーム固定バーのロックを確認し（下記参照）、ロックが不完全な場合は、手でも確実にロックさせてください。

! 手や指を挟まないように十分にご確認ください。



注意

- ・開き動作中は、フレームの隙間に手や指を入れないでください。
- ・フレームや各部で体を挟んだり、体にフレームや部品をぶつけてケガをしないようご注意ください。
- ・フレーム開き用キックバーは、足で静かに押ししてください。強い力で蹴らないでください。
- ・開き動作時に誤って、折りたたみ防止バーを蹴らないようご注意ください。
- ・開き動作は転倒しないように充分注意しながら行なってください。



警告

開き動作後、使用前には必ず下記の点をご確認ください。



- キャストを浮かせた状態で製品を軽くゆずっても、フレーム固定バーが折りたたまれないことを確認してください。（ゆずる際に転倒しないよう、充分ご注意ください）

- 左右のフレーム固定バーが、折りたたみ防止バーにより、確実にロックされていることを確認してください。



フレーム固定バーがロックされている状態。

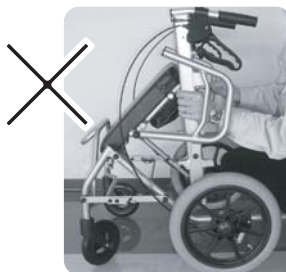
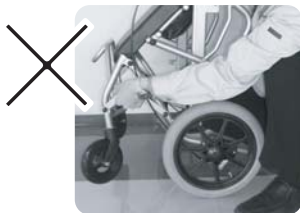


フレーム固定バーがロックされていない状態。（この状態では使用しないでください）



禁止(絶対にしないで下さい)

ポジション変更動作・折りたたみ動作・開き動作時には、フレームやフレーム固定バーを持って動作を行わないで下さい。
手をはさんで怪我をするおそれがあります。



MEMO



注意・警告

- 歩行車として使用の際は、必ず歩行車ポジションで使用してください。着座ポジションでは、歩行車として使用しないでください。
- 着座ポジションで使用する際は、必ず、介助者が付き添ってください。着座ポジションでの移動操作及びブレーキ操作は介助者が行なってください。
- 各部のガタつきやネジのゆるみ、タイヤのすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながる場合があります。定期的な取扱い業者のチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
- からだに合わない状態での使用はしないでください。
- アルクは歩行車です。着座ポジションは適切な歩行訓練を行うための補助的な機能で、車いすのようにメインで使う機能ではありません。着座ポジションで使用の際は、路面状況や障害物に注意して安全にご利用ください。
- 走行時には地面に凹凸や障害物がないか十分に注意して下さい。走行中にステップパイプや各部に凹凸や障害物が引っかけると、転倒や製品の破損の恐れがあります。
- 悪路や急な坂道、傾斜路では使用しないでください。転倒や製品の破損の恐れがあります。
- ポジション変更時や折りたたみ及び開き動作のときは各部が運動して動きます。指などをはさまないように注意して操作してください。
- 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足を挟むなどして、ケガをするおそれがありますので十分に注意して使用してください。
- 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取扱い、落としたり、たたいたりなど強い力や衝撃を与えないでください。製品が破損する事があります。
- 水にぬれた場合、そのままにしておくると製品に錆びやカビが出ることがあります。ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭き取ってください。水中での使用は絶対にしないで下さい。
- 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所(車中など)に製品を放置しないで下さい。フレームが傷むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに座ることで体調に悪影響を与えることがあります。
- エスカレーターの入出口付近、エレベーター、自動ドア等の付近で使用する際は注意してください。
- 踏切りを横断の際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝にはまる危険があります。
- ハンドルやフレームなどに手荷物等を掛けないください。荷物等が各部に当たり誤動作をしたり、バランスをくずして転倒したりする恐れがあります。
- ハンドルが抜けないようにノブボルトはしっかりと締め付けてください。
- 持ち運びの際は、ベルト・ワイヤーを持って運ばないでください。(製品の破損につながります。)
- 本書記載以外の使用はしないでください。
- 踏台や脚立のかわりに使用しないでください。
- 二人乗りなど、多人数での乗車はしないでください。
- 折りたたみ防止バー・パネ・樹脂部品・ワイヤー等の変形や破損がある状態での使用はしないでください。(使用を中止し、すみやかに販売店もしくはレンタル事業者へ修理・部品交換をご依頼ください。)
- フレームの折れ・曲がり・ベルト類の破損など壊れた状態での使用はしないでください。(使用を中止し、すみやかに販売店もしくはレンタル事業者へ修理・部品交換をご依頼ください。)
- 体調が著しく低下しているときは、使用しないでください。
- 改造や分解はしないでください。
- 7.5kg以上の方の使用はご遠慮ください。
- 製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店もしくはレンタル事業者までお問い合わせください。

MEMO

保証規定

I. 保証の範囲

- 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合には下記の保証書により無料で修理いたします。
- 保証期間はお買い上げ後1年間です。
- 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - 取扱い過誤による故障。
 - 製品に改造を加えた場合の故障。※純正品以外の部品を使用した場合も含まれます。
 - 天災、地変等による故障ならびに損傷。
 - 消耗部品、タイヤなど。
 - 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合。
 - 保証書のご提示がない場合。
- 以上の保証は本製品を日本国内に設置した場合に限ります。
- この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

III. ご注意

保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

品質保証書

本商品については上面記載の「保証規定」により正常な使用状態において故障が生じた場合に限りお買い上げ日より「1年間」無償にて修理致します。

機種	ア ル ク		
お客さま	ご住所	〒	
	(フリガナ) ご氏名	TEL	
お買い上げ日	年	日	保証書 目 日 まで
販売店	見本 (印)		
総販売元			
製造元	日進医療器株式会社 〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現35-2 TEL <0568>21-0635(代) FAX <0568>23-2787		

日進医療器株式会社

本 社 〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現35番地の2
TEL<0568>21-0635(代) FAX<0568>23-2787

東京営業所 〒112-0002 東京都文京区小石川 1-21-14
TEL<03>3814-0923(代) FAX<03>3814-4644

大阪営業所 〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 6-16-10
TEL<06>6323-8265(代) FAX<06>6326-2554

九州営業所 〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2丁目3-8つるまる堂ビル1F
TEL<092>513-5036(代) FAX<092>513-5038

東陽事業部 〒452-0901 愛知県清須市阿原北野13番地
TEL<052>401-2741(代) FAX<052>401-2751